

デング熱のペット動物への感染について

東獣危機管理室

デング熱は、アジア、中東、アフリカ、中南米、南太平洋などの熱帯、亜熱帯で発生している蚊が媒介する感染症である。WHO（世界保健機関）は毎年1億人の患者が発生していると推定している。発生数はこの数十年で都市部や都市近郊を中心に劇的に増加しており、今や世界中のヒトの半数に本病の感染リスクがあると言われている。アフリカや東南アジアではチンパンジーやテナガザル、マカカ属のサルの中で感染が維持されている（森林型）が、都市部でヒトと蚊の間で循環している都市型との関係は明らかにされていない。我が国でも輸入感染症として毎年200人程度の患者が報告されている。

病原体はフラビウイルス科フラビウイルス属のデングウイルスで、蚊が媒介する広義の Zoonosis である。臓器移植や輸血など特殊なケースを除けばヒトヒト感染はない。

前述の通り、デング熱はヒトを含む一部の霊長類で発生している感染症ということができる。最近メキシコに棲息するコウモリからウイルスを分離することができたという報告があったが¹、一般に感染モデルを作成することも困難とされているので、ヒトと一部の霊長類以外への感染は殆どないと推察する。ただし、感染しないことを証明する報告はない。

本病の歴史は古く、文献的には200年以上前から存在しているが、長い歴史の中でイヌやネコなどが本病に関して公衆衛生上何らかの役割を演じていると疑われたことはないようである。また、流行地においてイヌやネコが何らかの特殊な疾病に罹患している報告も見当たらないことから、本病がイヌやネコに感染して発症することはないと思われる。

¹ Sotomayor-Bonilla J et al. Dengue virus in bats from southeastern Mexico. *Am J Trop Med Hyg.* 2014;91:129-31.